

「ヤコブはファラオを祝福した。」 創世記 47章 5～13節

「ヤコブはファラオを祝福し、ファラオの前から立ち去った。」(16)
 という高齢の信仰者ヤコブの堂々とした姿が非常に好きです。私自身は、しばしば「偉そうだ。顔が怖い。」などと言われてしまい、反省しておりますが、「堂々とクリスチャンとして生きる。」という思いからのものです。謙遜は大事ですが、卑屈やへつらいはするまいと若い頃から心に決めておりました。

「アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神」(出3・15)として、個人を名指しで顕現された神は、ヤコブの人生に介入されて大いなる御業を成し遂げられました。私自身は、困難な時に「我が神、柏崎久雄が仕えている神」として、神に助けを乞います。自分の人生を神に明け渡して神に従っているという自覚がなければ、そしてそれが真実でなければ、そのような祈りはできず、またかなえられないものです。もし、私が自分勝手に主の名を呼んだら、「主の名をみだりに口にする者を罰せずにおかない。」(申命記5・11)という罰を覚悟しています。

ヤコブは、「私の生きてきた年月はわずかで、いろいろなわざわいがあがり、私の先祖がたどった日々、生きた年月には及びません。」(6)と自分の人生を振り返っています。祖父アブラハム、父イサクに比べると、我欲が招いた災いを悔いるのです。アブラハムは信仰の父と呼ばれ、イサクは従順の極みを見せた人です。ヤコブは、双子の弟として生まれ、兄に負けまいと競争心や自負心を強く持ち、苦労の中で知恵を尽くして生きた人です。ヤコブは私たちと似ているところが多いでしょう。しかし、ヤコブの特徴は試練や苦難の時に力と知恵を尽くして解決を模索し、そして神に誓願した人です。悔い改めは速やかになし、罰を覚悟し受け容れ、貪欲なラバンの下で20年間も辛抱した忍耐の人です。

現代人の特徴として、自分の希望(野望)を叶えようと努力し、宗教まで利用しようとする人がいることです。新興宗教にはまる人々は、殆どそのタイプで、却って人生を崩壊させてしまします。その理由は、人との交流が少なく、考え方が浅薄になっていくからだと思えます。

他方、希望も持たず、その日を楽に過ごせればそれで良いという人々も増えているようです。ストレスの中で生きてきたので、そこから解放されたいと願っているのかもしれない。

どちらも、自分中心の生き方であって、神がその人生を裁くということなど考えてもみないでしょう。宗教者が、その信仰を世的努力の下においてしまったことも影響しているのかもしれない。現代社会で、信仰を第一にしている人は非常に少ないのです。

間違いなく、アブラハムは信仰を第一にして生き、イサクも同様です。ヨセフもそうです。ヤコブは、神の義を第一にするよりもむしろ生き抜くことを優先し、それが故に不幸であったことに気が付いたのです。愛するヨセフと長年生き別れになったのは、息子たちを差別してしまったこと、妻を二人、妾を二人持つてしまい、その家族を信仰によって治めなかつたことの災いを悟つたのです。

そのような懺悔の中で神の祝福により、今の祝福があることに気が付いたので、エジプトの偉大な王ファラオさえも、「祝福した。」(11)のです。ファラオはヨセフが「神の霊が宿っている人」(41・38)として認め、「エジプト全土を支配させた。」(45)。ヨセフの働き以前に、神が世界を治めていることを悟つていたので。

クリスチャンが日常生活の中で、神の支配を信じて生きるよりも、世の盛衰や自然現象に一喜一憂しているのでは、世の人は神を恐れ神を信じて生きることはないでしょう。

この夏は長崎の五島列島にキリシタンの足跡を調べに行く予定でしたが、3月に祈りの中で支障があると感じて北海道に変更しました。台風や豪雨に妨げられることなく、北方四島や自然と社会、そして教会を見学することができました。もし、私が祈り無くして自分の希望と都合を變えずに一喜一憂していたら、殆どうまく行かなかつたと思われまます。

ヨセフは、最初から家族を「**ゴシエンの地に住んで、私の近くにいってください。**」(45・10)と計画し、「**飢饉はあと五年続きます**」(11)と聖霊に導かれて悟り、的確な指示を出しています。そして、ファラオに「**ゴシエンの血に住まわせてください。**」(47・7)と許可をいただいています。神の御霊に導かれることがどんなに大きなことか、多くの祝福を受けることか、気が付かなければなりません。

意地や頑なさが抜けなければ、神の祝福を受けることはできません。自分のあり方や生き方を変えない人が多くおります。

明らかに病気や不健康の兆候が表れているのに、「自分はこれまで健康で生きてきたからこんなものだ。」と検査もせず平気でいる人も多くおります。病気になってからでは遅いので、検診というものがあるのに、自分の不調を知りたくない自覚したくないと死んでいくのです。

ヤコブは、自分の過ちを認め、自分の判断や知恵は愚かなものであったことを認めたからこそ、神の祝福こそ大事だと悟つたのです。そして、大胆にもファラオを祝福したのです。祝福の祈りを軽んじてはいけません。お世辞のように考えるのは神への冒瀆です。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

【新改訳 2017】

創 47:5 ファラオはヨセフに言った。「おまえの父と兄弟たちが、おまえのところに来た。

47:6 エジプトの地はおまえの前にある。最も良い地に、おまえの父と兄弟たちを住まわせなさい。彼らをゴシェンの地に住ませるがよい。彼らの中に有能な者たちがいるのが分かったなら、その者たちを私の家畜の係長としなさい。」

47:7 それから、ヨセフは父ヤコブを連れて来て、ファラオの前に立たせた。ヤコブはファラオを祝福した。

47:8 ファラオはヤコブに尋ねた。「あなたの生きてきた年月は、どれほどになりますか。」

47:9 ヤコブはファラオに答えた。「私がたどってきた年月は百三十年です。私の生きてきた年月はわずかで、いろいろなわざわいがあり、私の先祖がたどった日々、生きてきた年月には及びません。」

47:10 ヤコブはファラオを祝福し、ファラオの前から立ち去った。

47:11 ヨセフは、ファラオが命じたとおりに、父と兄弟たちの住まいを定め、彼らにエジプトの地で最も良い地、ラメセスの地に所有地を与えた。

47:12 またヨセフは、父と兄弟たちとその一族全員を、扶養すべき者の数に応じて、食物を与えて養った。

47:13 飢饉が非常に激しかったので、全地で食物がなくなり、エジプトの地もカナンも飢饉によって衰え果てた。

【NKJV】

Gen 47:5 Then Pharaoh spoke to Joseph, saying, "Your father and your brothers have come to you.

47:6 "The land of Egypt is before you. Have your father and brothers dwell in the best of the land; let them dwell in the land of Goshen. And if you know any competent men among them, then make them chief herdsmen over my livestock."

47:7 Then Joseph brought in his father Jacob and set him before Pharaoh; and Jacob blessed Pharaoh.

47:8 Pharaoh said to Jacob, "How old are you?"

47:9 And Jacob said to Pharaoh, "The days of the years of my pilgrimage are one hundred and thirty years; few and evil have been the days of the years of my life, and they have not attained to the days of the years of the life of my fathers in the days of their pilgrimage."

47:10 So Jacob blessed Pharaoh, and went out from before Pharaoh.

47:11 And Joseph situated his father and his brothers, and gave them a possession in the land of Egypt, in the best of the land, in the land of Rameses, as Pharaoh had commanded.

47:12 Then Joseph provided his father, his brothers, and all his father's household with bread, according to the number in their families.

47:13 Now there was no bread in all the land; for the famine was very severe, so that the land of Egypt and the land of Canaan languished because of the famine.